

職業実践専門課程等の基本情報について

|                              |   |                               |            |   |              |        |        |
|------------------------------|---|-------------------------------|------------|---|--------------|--------|--------|
| 学校名                          |   | 設置認可年月日                       | 校長名        | 所在地   |              |        |        |
| 吉田学園動物看護専門学校                 |   | 平成14年11月21日                   | 滝本 玲       | 〒065-0016<br>(住所) 札幌市東区北16条東5丁目4番7号<br>(電話) 011-712-1633    |              |        |        |
| 設置者名                         |   | 設立認可年月日                       | 代表者名       | 所在地   |              |        |        |
| 学校法人吉田学園                     |   | 昭和53年10月31日                   | 吉田 祐樹      | 〒060-0063<br>(住所) 北海道札幌市中央区南3条西1丁目15番地<br>(電話) 011-272-6070 |              |        |        |
| 分野                           | 認定課程名   | 認定学科名                         | 専門士認定年度    | 高度専門士認定年度   | 職業実践専門課程認定年度 |        |        |
| 文化・教養                        | 専門課程  | 愛玩動物看護師学科                     | -          | -   | 令和5(2023)年度  |        |        |
| 学科の目的                        | 本学科は、高等学校教育の基礎の上に動物看護に関する知識及び技術を教授するとともに人と動物のふれあいきずなの理念を大切に、豊かな心で動物と接することができる有為な人材の育成を図り、教育を行うことを目的とする。   |                               |            |   |              |        |        |
| 学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)          | 取得可能な資格…愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士1級、愛玩動物飼養管理士2級、動物健康衛生管理検定1級、サロントリマー3級<br>課外活動…スポーツサークル、ボランティアサークル、イベントサークル<br>○令和5年4月1日 学科名称・修業年限(2年制→3年制)変更(旧名称:動物看護学科) |                               |            |   |              |        |        |
| 修業年限                         | 昼夜  | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数         | 講義         | 演習  | 実習           | 実験     | 実技     |
| 3年                           | 昼間  | ※単位時間、単位いずれかに記入<br>2,485 単位時間 | 1,545 単位時間 | 690 単位時間  | 250 単位時間     | — 単位時間 | — 単位時間 |
| 生徒総定員                        | 生徒実員(A)   | 留学生数(生徒実員の内数)(B)              | 留學生割合(B/A) | 中退率   |              |        |        |
| 108人                         | 43人   | 0人                            | 0%         | 0%  |              |        |        |
| 就職等の状況                       | ■卒業生数(C)  |                               | —          | 人   |              |        |        |
|                              | ■就職希望者数(D)  |                               | —          | 人   |              |        |        |
|                              | ■就職者数(E)  |                               | —          | 人   |              |        |        |
|                              | ■地元就職者数(F)  |                               | —          | 人   |              |        |        |
|                              | ■就職率(E/D)   |                               | —          | %   |              |        |        |
|                              | ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)   |                               | —          | %   |              |        |        |
|                              | ■卒業者に占める就職者の割合(E/C)   |                               | —          | %   |              |        |        |
|                              | ■進学者数   |                               | —          | 人   |              |        |        |
|                              | ■その他  |                               | —          |   |              |        |        |
|                              | (令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報)   |                               | —          |   |              |        |        |
| 第三者による学校評価                   | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無   |                               |            |   |              |        |        |
|                              | ※有の場合、例えば以下について任意記載<br>評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL   |                               |            |   |              |        |        |
| 当該学科のホームページURL               | <a href="https://yoshida-doubutsu.jp/">https://yoshida-doubutsu.jp/</a>   |                               |            |   |              |        |        |
| 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入) | (A: 単位時間による算定)  |                               |            |   |              |        |        |
|                              | 総授業時数   |                               | 2,485 単位時間 |   |              |        |        |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数      |   | 220 単位時間                      |            |   |              |        |        |
| うち企業等と連携した演習の授業時数            |   | 0 単位時間                        |            |   |              |        |        |
| うち必修授業時数                     |   | 2,485 単位時間                    |            |   |              |        |        |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数   |   | 220 単位時間                      |            |   |              |        |        |
| うち企業等と連携した必修の演習の授業時数         |   | 0 単位時間                        |            |   |              |        |        |
| (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)    |   | 0 単位時間                        |            |   |              |        |        |
| 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入) | (B: 単位数による算定)   |                               |            |   |              |        |        |
|                              | 総単位数  |                               | 単位         |   |              |        |        |
|                              | うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数  |                               | 単位         |   |              |        |        |
|                              | うち企業等と連携した演習の単位数  |                               | 単位         |   |              |        |        |
|                              | うち必修単位数   |                               | 単位         |   |              |        |        |
|                              | うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数   |                               | 単位         |   |              |        |        |
|                              | うち企業等と連携した必修の演習の単位数   |                               | 単位         |   |              |        |        |
|                              | (うち企業等と連携したインターンシップの単位数)  |                               | 単位         |   |              |        |        |
| 教員の属性(専任教員について記入)            | ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)   |                               | 0人         |   |              |        |        |
|                              | ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)  |                               | 2人         |   |              |        |        |
|                              | ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)   |                               | 0人         |   |              |        |        |
|                              | ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)   |                               | 0人         |   |              |        |        |
|                              | ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)  |                               | 4人         |   |              |        |        |
|                              | 計   |                               | 6人         |   |              |        |        |
|                              | 上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数   |                               | 2人         |   |              |        |        |

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会は、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ、必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等)に活かすことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

①学校教職員2名以上、文化・教養分野に関する企業等の役職者2名以上により構成し、実践的かつ専門的な職業教育の実施に向け、必要な情報の把握・分析を行い、実践教育課程の編成に活かすため、次の事項について審議を行う。

- ・業界における人材の専門性の動向、国又は地域の産業振興の方向性に関する事項
- ・実務に必要な最新の知識・技術・技能に関する事項
- ・学則の教育課程に関する事項
- ・教育課程に基づくシラバスに関する事項
- ・実習・演習等に関する事項
- ・その他、職業教育に関する事項

②教育課程編成委員会の提言等を踏まえ、学科会議にて付議・検討を行い、授業科目の追加や授業内容・方法の改善・工夫を行う。なお、学則変更を伴う教育課程の変更については、理事会の決議を経て行われる。また、シラバス・実習・演習に関する変更については、校長の決裁を経て行われる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

| 名前     | 所属                          | 任期                         | 種別 |
|--------|-----------------------------|----------------------------|----|
| 鳥越 慎吾  | 札幌小動物獣医師会 会長<br>あいの里動物病院 院長 | 令和5年4月1日～<br>令和7年3月31日(2年) | ①  |
| 今道 昭一  | きたのさと動物病院 院長                | 令和6年4月1日～<br>令和8年3月31日(2年) | ③  |
| 立石 淳子  | 公益社団法人 北海道愛玩動物協会<br>代表      | 令和6年4月1日～<br>令和8年3月31日(2年) | ①  |
| 棚橋 祥恵  | 株式会社Rococo 代表取締役社長          | 令和6年4月1日～<br>令和8年3月31日(2年) | ③  |
| 滝本 玲   | 吉田学園動物看護専門学校 校長             | 令和5年4月1日～<br>令和7年3月31日(2年) | —  |
| 古久保 英樹 | 吉田学園動物看護専門学校 学科長            | 令和5年4月1日～<br>令和7年3月31日(2年) | —  |
| 山本 美紀  | 吉田学園動物看護専門学校 主任             | 令和5年4月1日～<br>令和7年3月31日(2年) | —  |
| 前鼻 彰人  | 吉田学園動物看護専門学校 主任             | 令和6年4月1日～<br>令和8年3月31日(2年) | —  |

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月28日 14:00～15:00

第2回 令和6年2月27日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

学生の実践力を高めるため、ビジネスマナーなど広く社会教養や業界において今後必要性が高まる分野を精査し、資格取得も含め魅力あるカリキュラムの編成を検討し実施している。また、ICT教育の推進を図り、授業効果を高める取り組みを継続して検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

事業委託契約書による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指すために連携を行うもの。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習等の方針を基本として、担当者と事前・途中の打ち合わせを行い、動物病院内において現場の獣医師・動物看護師の業務見学ならびに動物看護師の業務体験を行う。実習終了後に習熟度評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名               | 企業連携の方法                        | 科目概要  | 連携企業等   |
|-------------------|--------------------------------|---|---|
| 動物看護総合実習<br>Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | 3. 【校外】企業内実習<br>(4に該当するものを除く。) | 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。 | アイリス動物医療センター<br>北愛動物病院 札幌院<br>しば動物病院<br>北光犬猫病院<br>円山動物病院 等 計131医院 |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は、学校法人吉田学園研修規定により、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを目的とする。

- ・教職員研修会
- ・教育職員研修
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等(学会等を含む)

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

|                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| 研修名： 全国動物専門学校協会 教員研修会          | 連携企業等： 全国動物専門学校協会     |
| 期間： 令和5年 8月 2日                 | 対象： ペット分野、動物分野の専門学校教員 |
| 内容： 栄養学セミナー「食事と栄養、療法食」について     |                       |
| 研修名： 日本動物看護学会                  | 連携企業等： 日本動物看護学会       |
| 期間： 令和5年 7月 31日                | 対象： 獣医医療関係者           |
| 内容： 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等       |                       |
| 研修名： 北海道小動物獣医師会年次大会2023        | 連携企業等： 北海道小動物獣医師会     |
| 期間： 令和5年 11月 4日～ 11月 5日        | 対象： 獣医医療関係者および学生      |
| 内容： 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等       |                       |
| 研修名： 【北海道・東北支部】～動物看護師情報交換会～    | 連携企業等： 日本動物看護職協会      |
| 期間： 令和5年 10月 15日               | 対象： 日本動物看護職協会所属の動物看護師 |
| 内容： 愛玩動物看護師への次へ～なりたい自分になる      |                       |
| 研修名： 日本臨床獣医学フォーラム第23回 年次大会2023 | 連携企業等： 日本臨床獣医学フォーラム   |
| 期間： 令和5年 9月 23日～ 9月 24日        | 対象： 獣医医療関係者および学生      |
| 内容： 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等       |                       |

|                           |   |                               |
|---------------------------|---|-------------------------------|
| <b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>  |   |                               |
| 研修名:                      | 文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会                                   | 連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会 |
| 期間:                       | 令和5年 8月 1日  | 対象: 北海道私立専修学校各種学校連合会会員校の教職員   |
| 内容                        | 教員の授業及び学生に対する指導能力等に修得・向上を図る。                              |                               |
| 研修名:                      | 学校法人吉田学園 専門学校教育研修会  | 連携企業等: なし                     |
| 期間:                       | 令和5年 8月 10日   | 対象: 正職員、嘱託職員                  |
| 内容                        | 吉田学園専門学校グループにおいて、学生に係る「教育課題」の解決に向けた実践的な研修を実施し、職員の資質向上を図る。 |                               |
| <b>(3) 研修等の計画</b>         |   |                               |
| <b>①専攻分野における実務に関する研修等</b> |   |                               |
| 研修名:                      | 全国動物専門学校協会 教員研修会  | 連携企業等: 全国動物専門学校協会             |
| 期間:                       | 令和6年 8月 30日   | 対象: ペット分野、動物分野の専門学校教員         |
| 内容                        | 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等                                      |                               |
| 研修名:                      | 日本動物看護学会  | 連携企業等: 日本動物看護学会               |
| 期間:                       | 令和6年 9月 2日～ 9月 3日   | 対象: 獣医医療関係者                   |
| 内容                        | 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等                                      |                               |
| 研修名:                      | 北海道小動物獣医師会年次大会  | 連携企業等: 北海道小動物獣医師会             |
| 期間:                       | 令和6年 11月 4日～ 11月 5日                                       | 対象: 獣医医療関係者および学生              |
| 内容                        | 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等                                      |                               |
| 研修名:                      | 【北海道・東北支部】～動物看護師情報交換会～                                    | 連携企業等: 日本動物看護職協会              |
| 期間:                       | 令和6年 10月 15日  | 対象: 日本動物看護職協会所属の動物看護師         |
| 内容                        | 動物看護師の仕事について、日頃の業務の工夫している点や意識している点などを意見交換しスキルアップを図る。      |                               |
| 研修名:                      | 日本臨床獣医学フォーラム第25回 年次大会2023                                 | 連携企業等: 日本臨床獣医学フォーラム           |
| 期間:                       | 令和5年 9月 23日～ 9月 24日                                       | 対象: 獣医医療関係者および学生              |
| 内容                        | 獣医療分野各種の学術研究発表・検討論議等                                      |                               |
| <b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>  |   |                               |
| 研修名:                      | 文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会                                   | 連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会 |
| 期間:                       | 令和6年 8月 2日  | 対象: 北海道私立専修学校各種学校連合会会員校の教職員   |
| 内容                        | 教員の授業及び学生に対する指導能力等の修得・向上を図る。                              |                               |
| 研修名:                      | 学校法人吉田学園 専門学校教育研修会  | 連携企業等: なし                     |
| 期間:                       | 令和6年 8月 9日  | 対象: 正職員・嘱託職員                  |
| 内容                        | 吉田学園専門学校グループにおいて、学生に係る「教育課題」の解決に向けた実践的な研修を実施し、職員の資質向上を図る。 |                               |
| 研修名:                      | 学校法人吉田学園 職員研修会  | 連携企業等: 未定                     |
| 期間:                       | 令和7年 3月(予定)   | 対象: 正職員・嘱託職員全員                |
| 内容                        | 新年度を迎えるにあたり理事長の講話を拝聴し、全職員の意識を統一し士気の高揚を図る。                 |                               |

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は、学校が行った次の事項に対する自己点検・評価の結果に基づき評価を行い、学校は、当該委員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。

(評価項目)

- ・教育理念・目標
- ・学校運営
- ・教育活動
- ・学修成果
- ・学生支援
- ・教育環境
- ・学生の受入れ募集
- ・財務
- ・法令等の遵守
- ・社会貢献・地域貢献
- ・国際交流

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目  |
|-------------|--|
| (1) 教育理念・目標 | ①学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか<br>(専門分野の特性が明確になっているか)<br>②学校における職業教育の特色は何か<br>③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか<br>④学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか<br>⑤学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか   |
| (2) 学校運営    | ①目的等に沿った運営方針が策定されているか<br>②運営方針に沿った事業計画が策定されているか<br>③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか<br>④人事、給与に関する規程等は整備されているか<br>⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか<br>⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか<br>⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか<br>⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか |

|             |  |
|-------------|--|
| (3)教育活動     | <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>②教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</li> <li>⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</li> <li>⑥関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>⑦授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>⑩資格取得等に関する指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</li> <li>⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</li> <li>⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul> |
| (4)学修成果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>①就職率の向上が図られているか</li> <li>②資格取得率の向上が図られているか</li> <li>③退学率の低減が図られているか</li> <li>④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>   |
| (5)学生支援     | <ul style="list-style-type: none"> <li>①進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>②学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>④学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>⑥学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>⑦保護者と適切に連携しているか</li> <li>⑧卒業生への支援体制はあるか</li> <li>⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の</li> </ul>  |
| (6)教育環境     | <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>③防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>  |
| (7)学生の受入れ募集 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>③納付金は妥当なものとなっているか</li> </ul>   |
| (8)財務       | <ul style="list-style-type: none"> <li>①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>③財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>④財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>  |
| (9)法令等の遵守   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>③自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>④自己点検・評価結果を公開しているか</li> </ul>   |

|               |   |
|---------------|---|
| (10)社会貢献・地域貢献 | ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか<br>②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか<br>③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか                     |
| (11)国際交流      | ①留学生の受入れについて戦略を持って行っているか<br>②留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか<br>③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか<br>④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

より高い専門職種を輩出する学校としての特性を活かしつつ、本校の実践的な職業教育にかかる活動等を評価し、改善・支援等を行うことにより、学生が関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるように学校運営の改善と、発展を目指す。

令和6年5月1日現在

| 名前    | 所属                          | 任期                         | 種別    |
|-------|-----------------------------|----------------------------|-------|
| 鳥越 慎吾 | 札幌小動物獣医師会 会長<br>あいの里動物病院 院長 | 令和5年4月1日～<br>令和7年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 今道 昭一 | きたのさと動物病院 院長                | 令和5年4月1日～<br>令和7年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 立石 淳子 | 公益社団法人 北海道愛玩動物協会 代表         | 令和6年4月1日～<br>令和8年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 棚橋 祥恵 | 株式会社Rococo 代表取締役社長          | 令和6年4月1日～<br>令和8年3月31日(2年) | 企業等委員 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 広報誌等の刊行物・その他( )

URL: <https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/doubutsu/>

公表時期: 令和6年10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学科目的に掲げた職業人の育成には、学校関係者との信頼関係を築き、連携・協力体制の構築が必要不可欠であり、その為に適切なツールにより、積極的な情報提供を行うことを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目       | 学校が設定する項目  |
|-----------------|--|
| (1)学校の概要、目標及び計画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の沿革・歴史</li> <li>・設立と教育目標、理念、教育方針</li> <li>・校長名、所在地、連絡先等</li> </ul>   |
| (2)各学科等の教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員数、在学生数</li> <li>・カリキュラム(授業概要、授業時数等)</li> <li>・進級・卒業要件等(成績評価基準、進級・卒業の認定基準等)</li> <li>・学習の成果として取得を目指す資格等</li> <li>・卒業者数、卒業後の進路(主な就職先、就職者数、就職率等)</li> </ul> |

|                   |   |
|-------------------|---|
| (3)教職員            | ・教員数  |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | ・就職支援等への取り組み状況<br>・現場実習等の取り組み状況                             |
| (5)様々な教育活動・教育環境   | ・学校行事への取り組み状況<br>・部活動の活動状況および実績<br>・施設・設備等の教育環境             |
| (6)学生の生活支援        | ・学生・生活指導への取り組み状況<br>・カウンセリングの体制整備等に関する状況                    |
| (7)学生納付金・修学支援     | ・学生納付金の取扱い(学費・納入時期等)<br>・活用できる修学支援の内容(奨学金、経済的支援等制度、貸付金の案内等) |
| (8)学校の財務          | ・事業報告書     ・貸借対照表<br>・収支計算書     ・監査報告書                      |
| (9)学校評価           | ・自己点検・評価、学校関係者評価の結果<br>・評価結果を踏まえた改善方策等                      |
| (10)国際連携の状況       |   |
| (11)その他           |   |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他(                      ))

URL: <https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/doubutsu/>

公表時期: 令和6年10月31日



授業科目等の概要

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |        |                  |                  |           |   |         |              |             |        |        |                              |        |        |        |        |         |
|------------------|--------|------------------|------------------|-----------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                  | 分類     |                  |                  | 授業科目名     | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                              | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
|                  | 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |           |   |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験・<br>実<br>習・<br>実<br>技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| 1                | ○      |                  |                  | 生命倫理・動物福祉 | 生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。  | 1年・後期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 2                | ○      |                  |                  | 動物形態機能学Ⅰ  | 動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基礎を確立する。 | 1年・前期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 3                | ○      |                  |                  | 動物形態機能学Ⅱ  | 動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基礎を確立する。 | 1年・後期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 4                | ○      |                  |                  | 動物形態機能学Ⅲ  | 動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基礎を確立する。 | 2年・前期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 5                | ○      |                  |                  | 動物形態機能学Ⅳ  | 動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基礎を確立する。 | 2年・後期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 6                | ○      |                  |                  | 動物繁殖学     | 繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。   | 3年・後期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 7                | ○      |                  |                  | 動物行動学     | 犬や猫の種としての行動様式を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。   | 1年・前期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 8                | ○      |                  |                  | 動物栄養学Ⅰ    | 5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法を修得する。                        | 2年・前期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |
| 9                | ○      |                  |                  | 動物栄養学Ⅱ    | 5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法を修得する。                        | 2年・後期   | 30           | 2           | ○      |        |                              | ○      |        |        | ○      |         |

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |        |                  |                  |                       |   |         |          |             |        |        |          |        |        |        |        |         |
|------------------|--------|------------------|------------------|-----------------------|---|---------|----------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                  | 分類     |                  |                  | 授業科目名                 | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |          | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
|                  | 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |                       |   |         |          |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実験・実習・実技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| 10               | ○      |                  |                  | 比較動物学Ⅰ                | 飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、実験動物との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。 | 3年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 11               | ○      |                  |                  | 比較動物学Ⅱ                | 飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、実験動物との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。 | 3年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 12               | ○      |                  |                  | 動物看護<br>関連法規          | 獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。  | 3年・後期   | 15       | 1           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 13               | ○      |                  |                  | 動物愛護・<br>適正飼養<br>関連法規 | 動物の看護及び適正飼育に関する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。   | 2年・後期   | 15       | 1           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 14               | ○      |                  |                  | 動物看護学<br>概論           | 獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。  | 2年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 15               | ○      |                  |                  | 動物病理学                 | 様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。   | 3年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 16               | ○      |                  |                  | 動物薬理学Ⅰ                | 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の判断や治療にどのように用いられるかを理解する。  | 2年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 17               | ○      |                  |                  | 動物薬理学Ⅱ                | 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の判断や治療にどのように用いられるかを理解する。  | 3年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 18               | ○      |                  |                  | 動物<br>感染症学Ⅰ           | 微生物や寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。     | 2年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 19               | ○      |                  |                  | 動物<br>感染症学Ⅱ           | 微生物や寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。     | 2年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |        |                  |                  |                    |   |         |          |             |        |        |          |        |        |        |        |         |
|------------------|--------|------------------|------------------|--------------------|---|---------|----------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                  | 分類     |                  |                  | 授業科目名              | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |          | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
|                  | 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |                    |   |         |          |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実験・実習・実技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| 20               | ○      |                  |                  | 動物<br>感染症学Ⅲ        | 微生物や寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。     | 3年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 21               | ○      |                  |                  | 公衆衛生学Ⅰ             | 環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。  | 3年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 22               | ○      |                  |                  | 公衆衛生学Ⅱ             | 環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。  | 3年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 23               | ○      |                  |                  | 動物内科<br>看護学Ⅰ       | 内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要な検査、所見の記録等について理解する。  | 1年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 24               | ○      |                  |                  | 動物内科<br>看護学Ⅱ       | 内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要な検査、所見の記録等について理解する。  | 2年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 25               | ○      |                  |                  | 動物内科<br>看護学Ⅲ       | 内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要な検査、所見の記録等について理解する。  | 2年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 26               | ○      |                  |                  | 動物外科<br>看護学Ⅰ       | 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。                              | 2年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 27               | ○      |                  |                  | 動物外科<br>看護学Ⅱ       | 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。                              | 3年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 28               | ○      |                  |                  | 動物臨床<br>看護学総論      | 動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。   | 1年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 29               | ○      |                  |                  | 動物臨床<br>看護学<br>各論Ⅰ | 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。 | 1年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |        |                  |                  |               |   |         |          |             |        |        |          |        |        |        |        |         |
|------------------|--------|------------------|------------------|---------------|---|---------|----------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                  | 分類     |                  |                  | 授業科目名         | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |          | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
|                  | 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |               |   |         |          |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実験・実習・実技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| 30               | ○      |                  |                  | 動物臨床看護学各論Ⅱ    | 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。 | 2年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 31               | ○      |                  |                  | 動物臨床看護学各論Ⅲ    | 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。 | 2年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 32               | ○      |                  |                  | 動物臨床看護学各論Ⅳ    | 様々な疾患の病理生態を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。 | 3年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 33               | ○      |                  |                  | 動物臨床検査学       | 様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。  | 1年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 34               | ○      |                  |                  | 動物医療コミュニケーション | 事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。  | 2年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 35               | ○      |                  |                  | 愛玩動物学Ⅰ        | 愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。  | 1年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 36               | ○      |                  |                  | 愛玩動物学Ⅱ        | 愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。  | 1年・後期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 37               | ○      |                  |                  | 人と動物の関係学      | 動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。                                | 1年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 38               | ○      |                  |                  | 適正飼養指導論Ⅰ      | 愛玩動物の効用や飼養目的を理解した上で、適正飼育の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。                                      | 1年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 39               | ○      |                  |                  | 適正飼養指導論Ⅱ      | 愛玩動物の効用や飼養目的を理解した上で、適正飼育の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。                                      | 1年・後期   | 30       | 2           |        |        | ○        | ○      |        |        | ○      |         |

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |        |                  |                  |            |  |         |          |             |        |        |          |        |        |        |        |         |
|------------------|--------|------------------|------------------|------------|--|---------|----------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                  | 分類     |                  |                  | 授業科目名      | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |          | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
|                  | 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |            |  |         |          |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実験・実習・実技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| 40               | ○      |                  |                  | 動物生活環境学    | 動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。 | 1年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 41               | ○      |                  |                  | ペット関連産業概論  | ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者として実践的知識や手法を学ぶ。   | 1年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 42               | ○      |                  |                  | 動物形態機能学実習  | 動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。   | 3年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 43               | ○      |                  |                  | 動物内科看護学実習Ⅰ | 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 2年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 44               | ○      |                  |                  | 動物内科看護学実習Ⅱ | 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 2年・後期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 45               | ○      |                  |                  | 動物内科看護学実習Ⅲ | 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 3年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 46               | ○      |                  |                  | 動物内科看護学実習Ⅳ | 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 3年・後期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 47               | ○      |                  |                  | 動物外科看護学実習Ⅰ | 手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。  | 2年・後期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |        |                  |                  |              |   |         |          |             |        |        |          |        |        |        |        |         |
|------------------|--------|------------------|------------------|--------------|---|---------|----------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                  | 分類     |                  |                  | 授業科目名        | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |          | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
|                  | 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |              |   |         |          |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実験・実習・実技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| 48               | ○      |                  |                  | 動物外科看護学実習Ⅱ   | 手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 3年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 49               | ○      |                  |                  | 動物外科看護学実習Ⅲ   | 手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 3年・後期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 50               | ○      |                  |                  | 動物臨床看護学実習Ⅰ   | 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 3年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 51               | ○      |                  |                  | 動物臨床看護学実習Ⅱ   | 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 3年・後期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 52               | ○      |                  |                  | 動物臨床検査学実習Ⅰ   | 検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 1年・後期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 53               | ○      |                  |                  | 動物臨床検査学実習Ⅱ   | 検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。   | 2年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 54               | ○      |                  |                  | 動物愛護・適正飼養実習Ⅰ | 動物の飼育管理に関する基本的な扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼育に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。   | 1年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 55               | ○      |                  |                  | 動物愛護・適正飼養実習Ⅱ | 動物の飼育管理に関する基本的な扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼育に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。   | 1年・後期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 56               | ○      |                  |                  | 動物看護総合実習Ⅰ    | 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。 | 1年・後期   | 65       | 1           |        |        | ○        |        | ○      |        |        | ○       |
| 57               | ○      |                  |                  | 動物看護総合実習Ⅱ    | 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。 | 2年・前期   | 65       | 1           |        |        | ○        |        | ○      |        |        | ○       |

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |        |                  |                  |               |   |         |          |             |        |        |          |        |        |        |        |         |
|------------------|--------|------------------|------------------|---------------|---|---------|----------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
|                  | 分類     |                  |                  | 授業科目名         | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |          | 場所     |        | 教員     |        | 企業等との連携 |
|                  | 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |               |   |         |          |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実験・実習・実技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |         |
| 58               | ○      |                  |                  | 動物看護<br>総合実習Ⅲ | 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。 | 3年・前期   | 90       | 2           |        |        | ○        |        | ○      |        |        | ○       |
| 59               | ○      |                  |                  | 愛玩対策Ⅰ         | 愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身につける。  | 1年・通年   | 45       | 3           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 60               | ○      |                  |                  | 愛玩対策Ⅱ         | 愛玩動物飼養管理士1級合格レベルの知識を身につける。  | 2年・通年   | 45       | 3           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 61               | ○      |                  |                  | グルーミング<br>演習Ⅰ | グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。  | 1年・後期   | 60       | 2           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 62               | ○      |                  |                  | グルーミング<br>演習Ⅱ | グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。  | 2年・前期   | 60       | 2           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 63               | ○      |                  |                  | グルーミング<br>演習Ⅲ | グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。  | 2年・後期   | 60       | 2           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 64               | ○      |                  |                  | グルーミング<br>演習Ⅳ | グルーミング実践の基礎を理解した上でカットの基本を学び技術を身に付ける。  | 3年・前期   | 60       | 2           |        | ○      |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 65               | ○      |                  |                  | ゼミⅠ           | コンピュータを利用した事務作業に必要な文書の作成やマナーについて学習。就職活動に実践で活用できる内容の学習と習得。   | 1年・前期   | 30       | 1           |        | ○      |          | ○      |        |        | ○      |         |
| 66               | ○      |                  |                  | ゼミⅡ           | 動物に関することの中からテーマを決めて調べ、パワーポイントにて作成・発表する。   | 3年・通年   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        | ○      |        |         |
| 67               | ○      |                  |                  | ビジネス<br>マナーⅠ  | 社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の修得を目的とする。      | 1年・前期   | 30       | 2           | ○      |        |          | ○      |        |        | ○      |         |

| (専門課程 愛玩動物看護師学科) |       |      |      |          |  |       |     |                |    |          |    |    |    |    |         |
|------------------|-------|------|------|----------|--|-------|-----|----------------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類               | 授業科目名 |      |      | 授業科目概要   | 配当年次・学期  | 授業時数  | 単位数 | 授業方法           |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
|                  | 必修    | 選択必修 | 自由選択 |          |  |       |     | 講義             | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| 68               | ○     |      |      | ビジネスマナーⅡ | 社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の修得を目的とする。 | 1年・後期 | 30  | 2              | ○  |          |    | ○  |    | ○  |         |
| 69               | ○     |      |      | ビジネスマナーⅢ | 進路決定のための業界研究、円滑な就職活動への取り組み。  | 2年・後期 | 15  | 1              | ○  |          |    | ○  |    | ○  |         |
| 70               | ○     |      |      | 動物災害看護学Ⅰ | 災害急性期に動物救護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。   | 2年・後期 | 30  | 2              | ○  |          |    | ○  |    |    | ○       |
| 71               | ○     |      |      | 動物災害看護学Ⅱ | 災害急性期に動物救護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。   | 3年・前期 | 30  | 2              | ○  |          |    | ○  |    |    | ○       |
| 72               | ○     |      |      | 国家試験対策Ⅰ  | 愛玩動物看護師免許取得に向けて、問題演習を行い資格取得に必要な知識を復習する。  | 2年・後期 | 30  | 2              | ○  |          |    | ○  |    |    | ○       |
| 73               | ○     |      |      | 国家試験対策Ⅱ  | 愛玩動物看護師免許取得に向けて、問題演習を行い資格取得に必要な知識を復習する。  | 3年・前期 | 30  | 2              | ○  |          |    | ○  |    |    | ○       |
| 74               | ○     |      |      | 国家試験対策Ⅲ  | 愛玩動物看護師免許取得に向けて、問題演習を行い資格取得に必要な知識を復習する。  | 3年・後期 | 60  | 4              | ○  |          |    | ○  |    |    | ○       |
| 合計               |       |      |      |          |  | 74    | 科目  | 2485 単位 (単位時間) |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法   | 授業期間等    |     |
|--|----------|-----|
| 卒業要件： 教育課程の定めるところにより、修業年限以上在学し、教育指導計画に従って授業科目を履修し、その成果が満足できると認められたときは、所定の会議の議を経て卒業を認定する。 | 1学年の学期区分 | 2期  |
| 履修方法： 教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って授業科目を履修する。  | 1学期の授業期間 | 15週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。